















県内経済は、引き続き先行きに不透明感がみられるものの、足元では緩やかに持ち直している。

1. 県内経済動向 (2023年8月の統計資料などを基に取りまとめたものです。)

項目	今月の動向	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	公共投資は昨年増加した反動から前年比マイナス推移となっているが、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、乗用車販売などの消費動向が引き続き前年を上回る。物価上昇や原油・原材料価格高騰の影響などを注視する必要があるが、個人消費を中心に全体では緩やかな持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	消費動向は、百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアがいずれも前年を上回った。乗用車販売台数は半導体不足の緩和から新車・中古車ともに前年を上回り、合計で8カ月連続で前年比増加となり、特に新車は前年比+23.8%と大幅に上回る。		
公共投資	公共投資は、公共工事前払保証請負金額が3カ月連続で前年を下回った。特定復興再生拠点区域関連などの環境省発注工事が前年同月比8割を超える大幅減となったほか、県や市町村も約3割減と全般的に減少している。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数、床面積、工事費予定額がいずれも前年を上回った。工事費予定額が前年を上回るのは3カ月ぶり。用途別にみると、「運輸業用」「電気・ガス・熱供給・水道業用」「卸売業・小売業用」などの分野で投資の増加がみられた。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、3カ月加重移動平均値が昨年10月以降800戸を下回り推移するが、足元の8月は前年比+9.3%と3カ月ぶりに前年を上回り、加重移動平均値も770戸まで回復がみられる。8月を利用関係別にみると、「持家」が380戸(同+6.1%)、「貸家」が230戸(同+12.2%)、「分譲」が168戸(同+12.8%)といずれも前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、季節調整済指数が91.3で前月比△0.4%となった。「情報通信機械工業」(前月比+33.7%)など10業種で上昇し、「汎用・生産用・業務用機械工業」(同△11.0%)など9業種で低下した。		
雇用動向	有効求人倍率は季節調整値が1.36倍で前月値を0.03ポイント下回った。「サービス」(介護サービス、接客・給仕など)や「専門・技術」(建築・土木技術者、看護師・医療技術者など)といった職種では求人数が求職者数を大幅に上回っている。雇用保険受給者実人員は前年比△6.0%と3カ月連続で前年を下回っている。		

注1: 「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向(↗:改善、→:不変、↘:悪化)を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2: 「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断しており、「変化方向」が改善または悪化の場合に、「水準」が必ず変化するわけではない。





なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3: 「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4: 鉱工業生産指数は7月データ。

注5: 鉱工業生産指数の季節調整済指数、有効求人倍率の季節調整値は、月による稼働日数の違い、正月や年度末の決算などの社会慣習など、季節変動の影響を取り除くことで前月や前々月との比較を可能にしたもの。

(天気図(水準)の意味)

				
晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良

悪

電子ブック版では目次記載の全ての記事をご覧ください。



2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2023年3月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額（全店舗）	0.8	3.2	2.1	2.3	3.2	5.5
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	2.9	1.9	2.5	0.4	1.8	4.1
	ドラッグストア販売額（全店舗）	9.1	7.1	7.3	8.0	8.6	5.9
	乗用車販売台数	6.4	3.8	8.8	12.0	6.0	8.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	55.0	△ 39.8	83.5	△ 2.5	△ 1.8	△ 42.0
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 6.3	△ 16.8	10.6	△ 27.0	△ 24.6	45.2
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 17.9	△ 7.4	2.5	△ 9.2	△ 14.8	9.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	3.6	3.3	2.3	3.7	1.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.00	0.00	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.11
	雇用保険受給者実人員	△ 7.7	△ 8.1	2.7	△ 6.1	△ 2.4	△ 6.0

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正値。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2023年3月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額（全店舗）	11.6	△ 2.5	3.8	△ 3.8	6.5	2.4
	コンビニエンスストア販売額（全店舗）	13.2	△ 1.7	3.5	△ 2.7	10.3	1.3
	ドラッグストア販売額（全店舗）	1.7	3.7	0.3	4.0	4.5	2.5
	乗用車販売台数	62.7	△ 42.7	△ 2.3	14.4	△ 7.6	△ 8.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	108.7	△ 28.5	63.2	△ 31.5	△ 8.9	△ 39.8
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 34.9	△ 31.3	△ 35.1	16.6	5.5	20.6
住宅投資	新設住宅着工戸数	14.1	20.6	△ 22.0	13.4	11.3	△ 1.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 0.2	4.4	△ 3.6	4.8	△ 0.4	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.06	0.02	0.01	0.00	△ 0.01	△ 0.03
	雇用保険受給者実人員	△ 0.5	△ 2.1	15.5	4.2	4.2	3.9

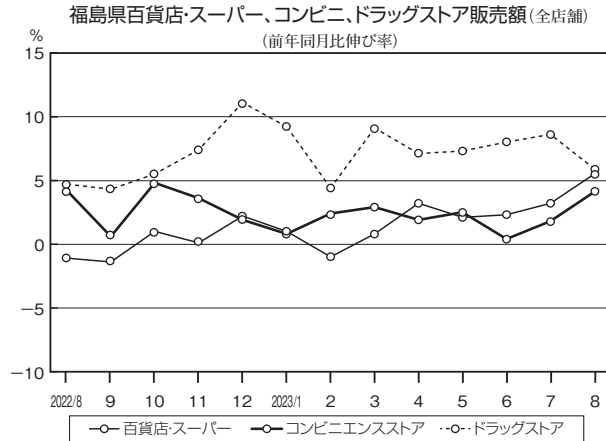
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正値。

3. 県内経済動向

消費動向

百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアがいずれも前年比増

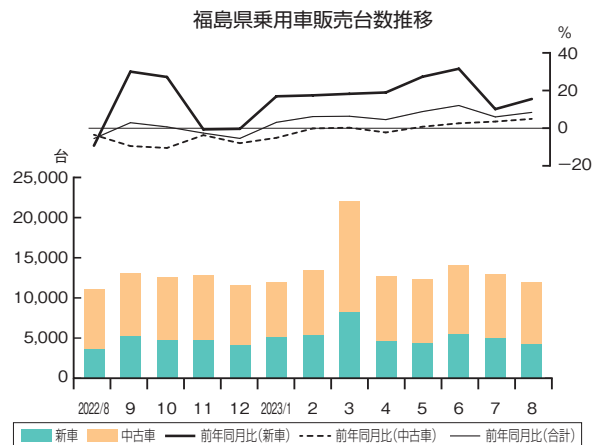
8月の県内百貨店・スーパーの販売額は250億700万円（前年同月比+5.5%）と6カ月連続で前年を上回った。また、コンビニエンスストア（コンビニ）販売額は192億1300万円（同+4.1%）で17カ月連続、ドラッグストア販売額は111億6300万円（同+5.9%）で28カ月連続とそれぞれ前年を上回った。なお、百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアの販売額合計は554億4600万円（同+5.1%）と前年を上回った。



（資料：経済産業省）

乗用車販売：8カ月連続で前年比増

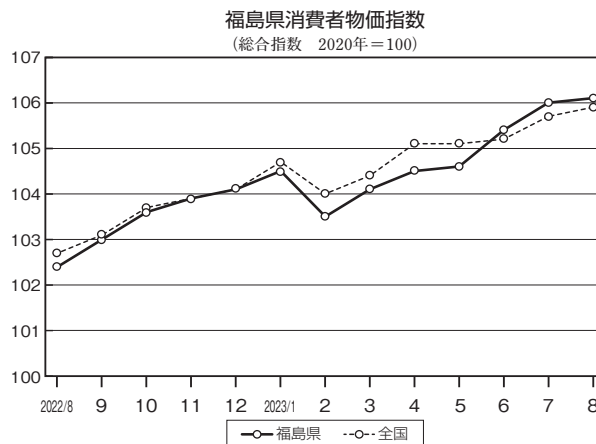
8月の乗用車販売台数をみると、新車が4,193台（前年同月比+15.4%）、中古車が7,755台（同+5.0%）、合計が11,948台（同+8.4%）となった。新車では、普通車が前年同月比+23.8%、小型車が同+11.7%、軽乗用車が同+10.3%といずれも前年を上回った。



（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会福島県支部、（一社）全国軽自動車協会連合会）

消費者物価指数：前月比・前年比ともに上昇

8月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2020年=100）が106.1で前月比+0.1%、前年同月比+3.6%。費目別に前月比で見ると、「教養娯楽」の111.4（前月比+1.9%）など4費目で上昇し、「被服及び履物」の103.2（同△2.8%）など4項目で下降した。



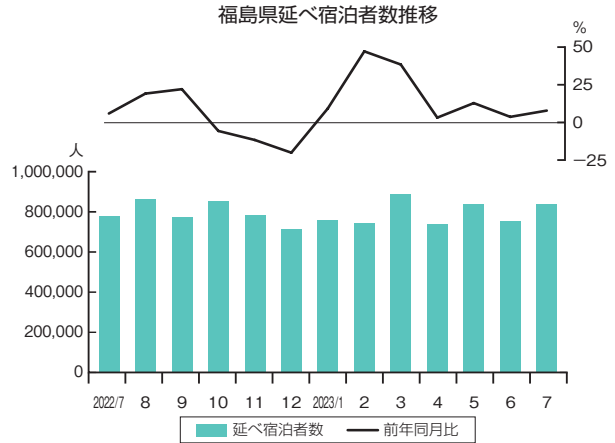
（資料：総務省統計局）

観光

※延べ宿泊者数は7月データ

延べ宿泊者数：7カ月連続で前年比増

7月の延べ宿泊者数は、837,490人（前年同月比+7.9%）と7カ月連続で前年を上回った。このうち、外国人延べ宿泊者数は17,430人（同+492.9%）。

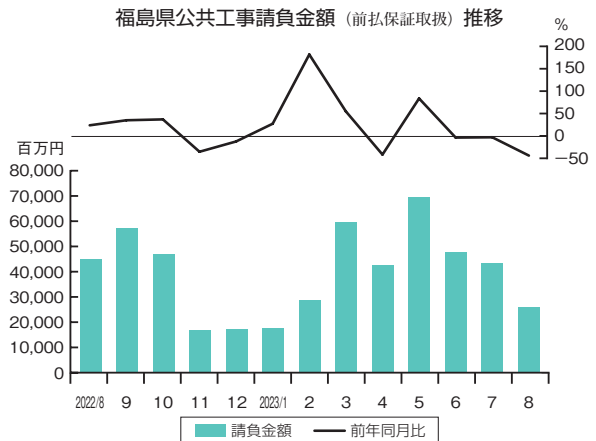


(資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」)

公共投資

公共工事：請負金額は3カ月連続で前年比減

8月の公共工事前払保証取扱は、件数が625件（前年同月比△17.9%）、請負金額が262億54百万円（同△42.0%）、保証金額が118億9百万円（同△42.0%）といずれも前年を下回った。環境省が前年同月比△103億円となったほか、県や市町村など全般的に前年を下回っている。

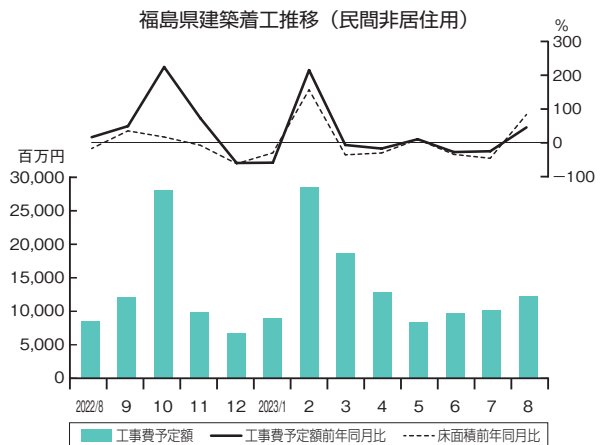


(資料：東日本建設業保証(株))

設備投資

設備投資：工事費予定額は3カ月ぶりに前年比増

8月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が148棟（前年同月比+11.3%）、床面積が60,293㎡（同+82.8%）、工事費予定額が122億48百万円（同+45.2%）といずれも前年を上回った。用途別にみると、「運輸業用」や「卸売業・小売業用」などが増加している。

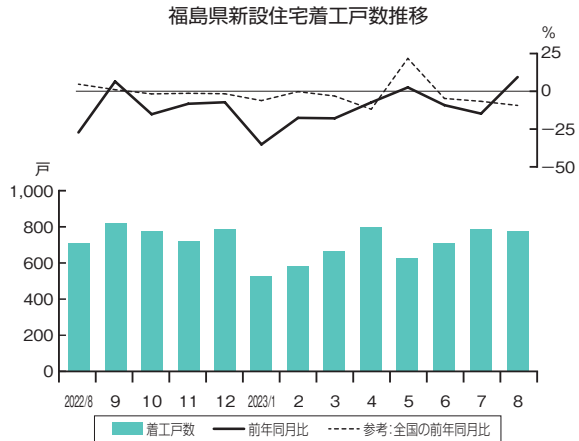


(資料：国土交通省)

住宅投資

住宅建設：3カ月ぶりに前年比増

8月の県内新設住宅着工戸数は778戸（前年同月比+9.3%）と3カ月ぶりに前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が380戸（同+6.1%）、「貸家」が230戸（同+12.2%）、「分譲」が168戸（同+12.8%）といずれも前年を上回った。



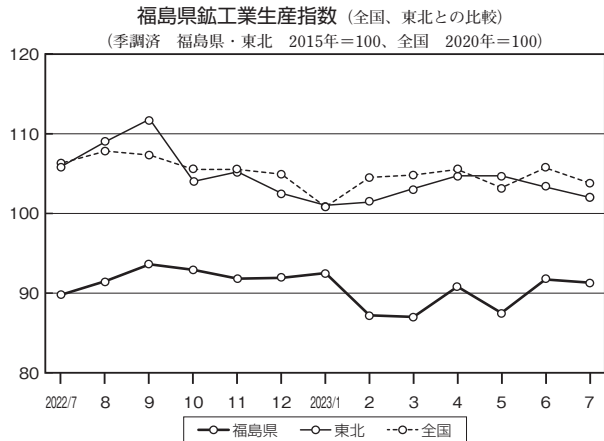
(資料：国土交通省)

生産活動

※ 鉱工業生産指数は7月データ

鉱工業生産指数：前月比下降、前年比上昇

7月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が91.3（前月比△0.4%）、原指数が92.3（前年同月比+1.8%）となった。業種別の季節調整済指数前月比をみると、「情報通信機械工業」（前月比+33.7%）など10業種で上昇し、「汎用・生産用・業務用機械工業」（同△11.0%）など9業種で低下した。

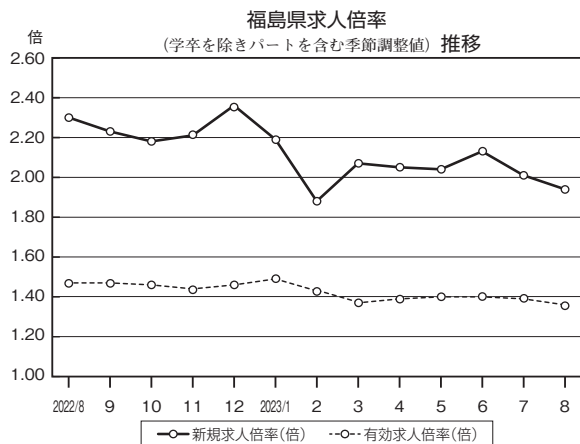


(資料：福島県企画調整部統計課)

雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比下降

8月の新規求人倍率は、季節調整値が1.94倍（前月比△0.07ポイント）、原数値が2.05倍（前年同月比△0.32ポイント）となり、有効求人倍率は、季節調整値が1.36倍（前月比△0.03ポイント）、原数値が1.35倍（前年同月比△0.11ポイント）となった。また、8月の雇用保険受給者実人員は6,879人（前年同月比△6.0%）と3カ月連続で前年を下回った。

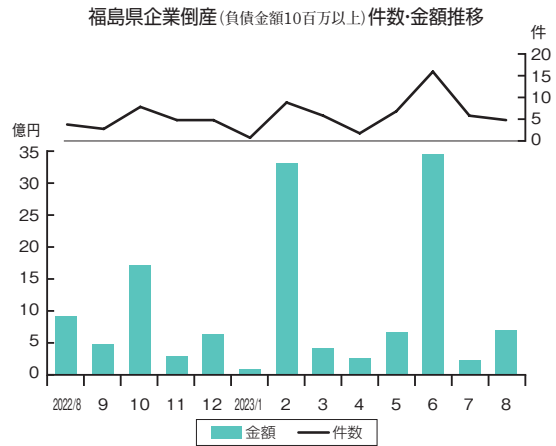


(資料：福島労働局職業安定部)

企業倒産

企業倒産：負債総額は前年比減

8月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が5件（前年同月比+25.0%）、負債総額が6億93百万円（同△24.3%）。業種別では「製造業」が3件、「小売業」が2件となった。

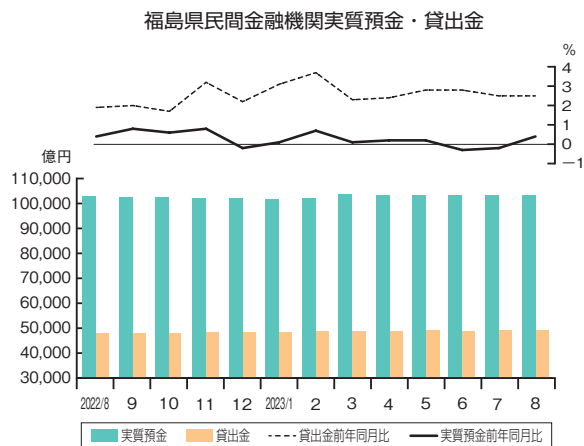


(資料：㈱帝国データバンク福島支店)

金融動向

資金需給：預金・貸出金ともに前年比増

県内金融機関（全国銀行の県内店舗分、県内8信用金庫の全店舗分）の8月末の実質預金残高は、10兆3,368億円（前年同月比+0.4%）と3カ月ぶりに前年比増加。貸出金残高は、4兆8,960億円（同+2.5%）と9年15カ月連続で前年比増加。

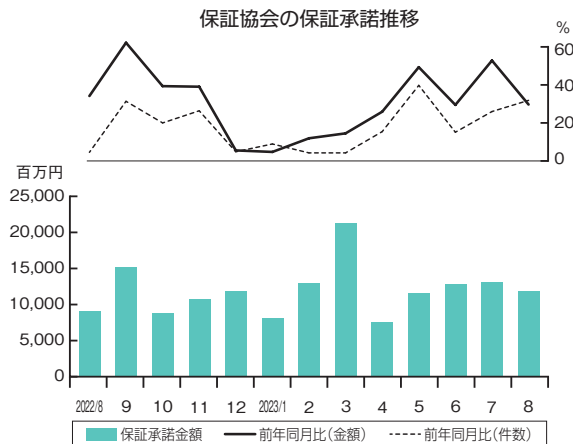


(資料：日本銀行福島支店)

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手形・小切手類の合計金額を控除したもの。

保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

8月の保証承諾は、件数が780件（前年同月比+31.8%）、保証金額が117億47百万円（同+29.6%）。8月末日現在の保証債務残高は、件数42,758件（同△1.2%）、金額5,426億77百万円（同△3.2%）。一方、8月中の代位弁済は、件数が32件（同+39.1%）、金額が4億12百万円（同+14.8%）。



(資料：福島県信用保証協会)